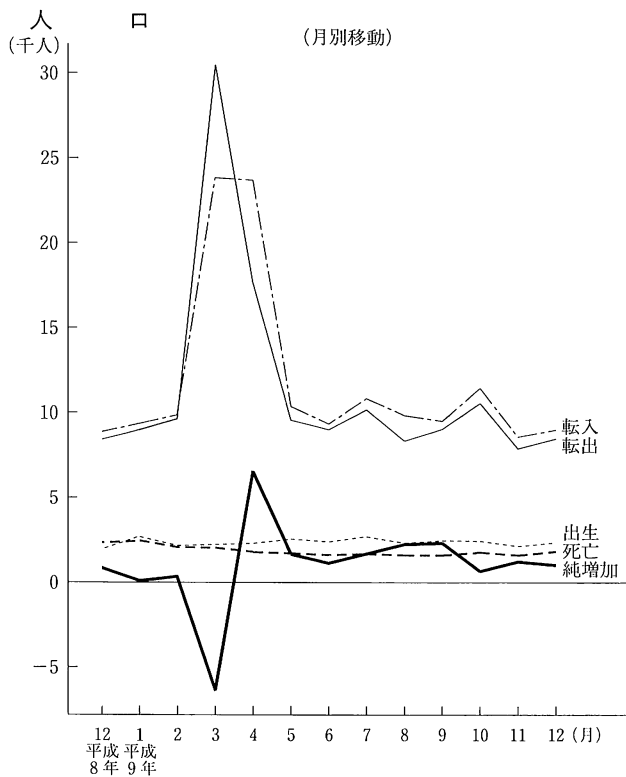
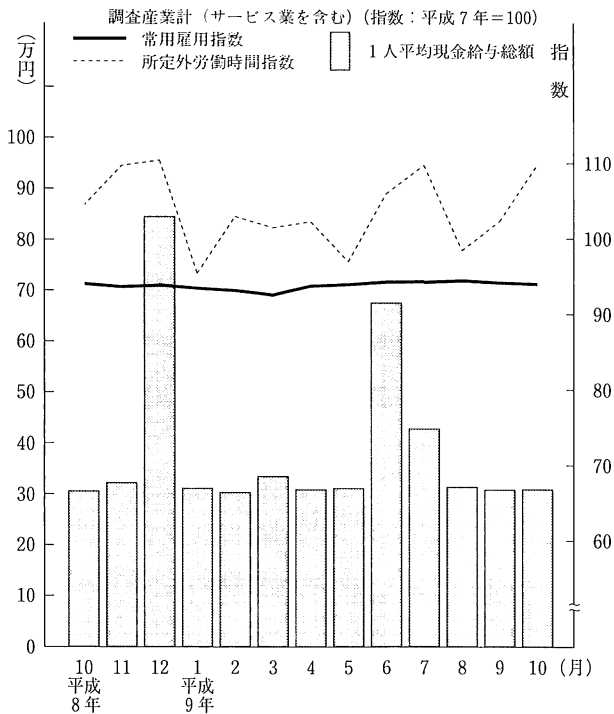


● 今月の主な動き

# 今月の主な動き



賃金・労働時間・雇用



■ 人口 (10年1月1日)

12月の概況

本県の人口は、12月中に1,036人増加し、1月1日現在で2,985,359人(男1,490,734人,女1,494,625人)となった。

内訳は、自然動態で533人(出生2,369人,死亡1,836人)増加し、社会動態で503人(転入8,990人,転出8,487人)増加した。前年同月と比べると12,698人(0.4%)の増加である。

市町村別では、増加が14市37町村,減少が6市28町村である。

世帯数についても12月中に647世帯増加し、958,541世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (9年10月)

1. 平均時間の推移

10月の現金給与総額は、調査産業計で308,435円,対前年同月比1.5%増,このうち,きまって支給する給与は306,468円,対前年同月比1.6%増であった。また,このうち,所定内給与は276,994円,対前年同月比1.0%増であり,超過労働給与は29,474円,対前年同月比7.3%増であった。

なお,物価上昇分を差し引いた実質賃金は,対前年同月比0.5%減であった。

2. 労働時間

10月の総実労働時間は,調査産業計で160.9時間,対前年同月比0.7%減であった。このうち,所定内労働時間は146.3時間,対前年同月比1.3%減,所定外労働時間は14.6時間,対前年同月比5.1%増であった。

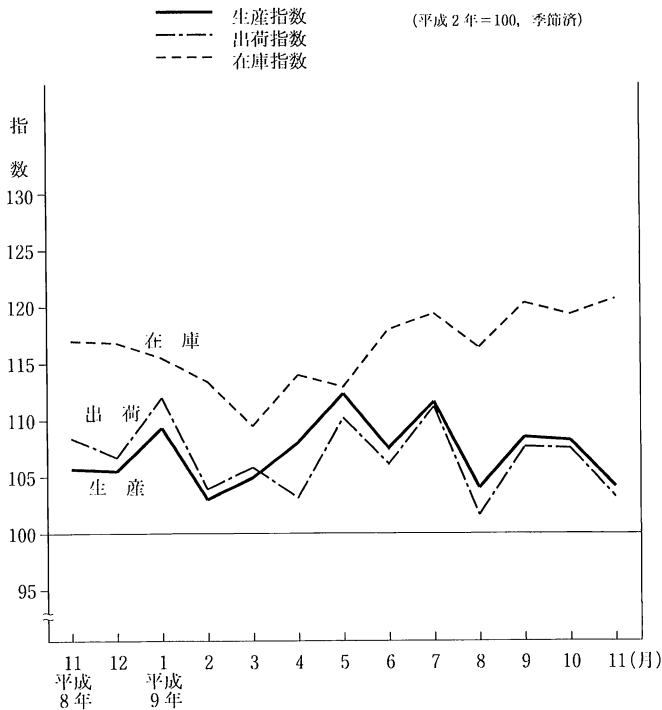
3. 雇用の動き

10月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比0.1%減であった。

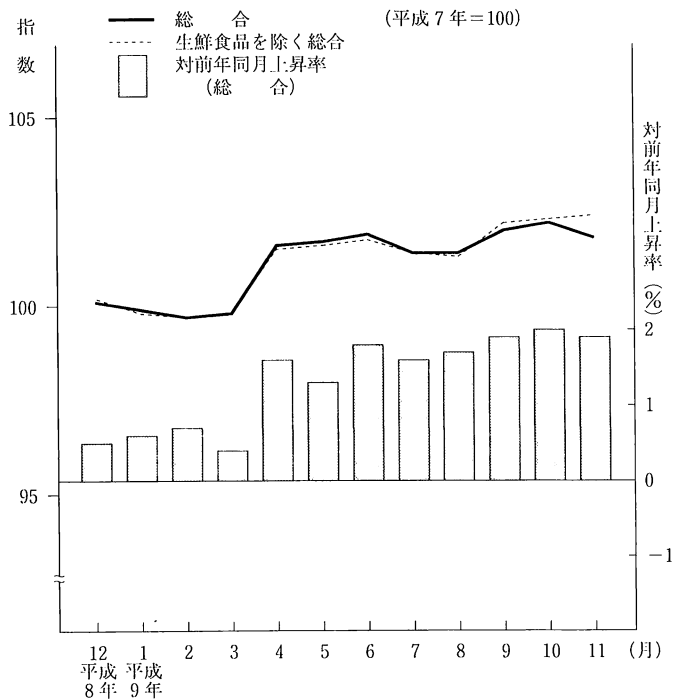
※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお,事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（9年11月）

本県における平成9年11月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調節済指数で、生産が104.1、出荷が103.2、在庫が120.7で前月比は、生産が3.8%の低下、出荷が3.9%の低下、在庫が1.2%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が1.5%の低下、出荷が4.7%の低下、在庫が3.1%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、食料品・たばこ工業、一般機械工業、その他工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、鉱業等が低下した。出荷では、食料品・たばこ工業、化学工業が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、非鉄金属工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、電気機械工業、鉱業等が上昇し、金属製品工業、一般機械工業、食料品・たばこ工業等が低下した。財別にみると、生産では、非耐久消費財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。出荷では、非耐久消費財が上昇し、建設材、資本財等が低下した。在庫では、耐久消費財、建設財等が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数（9年11月）

平成9年11月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で101.8(平成7年=100)となり、前年比0.4%の減少、前年同月比1.9%の上昇となった。

今月の上がった主な項目…衣料1.7%、油脂・調味料1.6%、身の回り用品1.3%

今月の下がった主な項目…果物15.3%、野菜・海藻12.6%、保健医療用品・器具1.8%

生鮮食品を除く総合は102.4となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比2.2%の上昇であった。

■ 費目別指数

(平成7年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.8	△0.4	1.9	保健医療	112.8	△0.4	10.7
食料	99.6	△2.1	0.9	交通通信	98.9	0.1	0.1
住居	102.1	0.0	0.5	教育	106.3	0.0	2.9
光熱・水道	105.0	△0.1	5.3	教養娯楽	100.2	0.7	2.6
家具・家事用品	97.0	△0.6	△0.4	諸雑費	100.9	0.4	1.3
被服及び履物	110.3	1.0	4.5	生鮮食品を除く総合	102.4	0.1	2.2